平成22	9年度(対21	年度実績)		事	務	F	業	平 個	ī 表	₹		作,	戊日 平	乙成 2	22 年	5 月	28 日
部局名	総務企画部		所属名	秘書課				所属長	名 石	塚則	子	電	話 483	3-1151	内線230	02	
1. 事	8事業の位	置付け・概要	更(P L	AN)													
コード	3011	事務事業名称	秘書総務	务事業								短網	コード	経常	3011	臨時	§ 3012
予算区分	会計 01	一般会計		款 02	総務費			項 0	1 総系	 答理費		目	01	一般管	理費		•
区分	☑ 自治事務 □ その他	□ 法定	受託事務	根拠	法令等 八章	千代市	表彰規則										
事業概要	要(事務事業を	開始したきっかり	ナを含めて	記入)													
		関する総括的な事	<i>3</i> , (<i>3</i> ,),	Z = /K///		104)	3.7.5, 2.4.12	7 (3.1)	9 1 11	<i>379</i> 17 13							
事務事	業を取り巻く状	況の変化 又、全	き後の変化の	の推測			5本の4	柱(章)	06	計画技	推進のために	_					
交換をす	る場である。	自ら市民や市民団 市民ニーズが多様	化する中で	で、市民参	加を推進し		大項目(節		01	パー	トナーシッフ	レップによる市政運営と市民自治の推進					
		意義は大きく今後 の意見交換を積極			な場面を通	総合計一	中』	項目	01	パー	トナーシッフ	゚によるま	ちづく	りの推済	焦		
						画の施策	小項目	(施策)	02	市民	参加体制の充	芝実					
						体系	細」	項 目	03	市民	ニーズの的確	産な把握と	市政への	の反映			
							実施計画	十画の事業									
計画事業	美の位置付けの	有無		計画事	事業期間			~			計画事業	美 費				-	千円
2.事																	
		※亚成21年度に宝	際に行った	- L・													

1. 市長,副市長,庁内各課,関係機関(市民) 2. 市政に功労のあった個人・団体・法人(自治・産業・教育・文化・社会事業・衛生・民生・消防・防犯・市政・善行者) 3. 各種団体,グループ
※平成21年度に実際に行ったこと: 1. 渉外事務 (1) 翌年度の行事予定を事前に把握する。(2) 関係部門と業務内容について検討する。(3) 外部機関、関係者(市民) との連絡・調整を行う。 2. 表彰者 (1) 各部に候補者の推薦依頼し、表彰規程に基づき庁議で審査する。(2) 決定者に表彰式への通知をする。(3) 表彰式を挙行(11月23日) する。(4) その他の善行者・寄付者に対しては、随時表彰する。 3. 市民対話 (1) 市長対話・講話の日程を調整する。(2) 市長対話・講話内容の打合せを行う。(3) 対話・講話資料を作成する。 ※平成22年度に計画していること: 2.1 年度と同様
1. 市長、副市長の公務を効率的且つ効果的に遂行する。 2. 市政に功労のあった者や市民の模範となる者の功績に報いるため、表彰を行い広く周知することにより、市民に市政への貢献意識を高めてもらう。 3. 市民参加型の市政運営の一環として、多くの市民の意見を聞くためである。
入力対象外

区分			24 /T	2 0 年度	2 1 年	2 2 年度	
			単位	実績	計画	実績	計画
	指標 1	市民及び市政に貢献した個人・団体	件	44	50	59	50
対象指標	指標 2	市長対話・講話の団体	件	25	30	15	25
	指標3						
	指標 1	表彰審査件数	件	44	50	59	50
活動指標	指標 2	市長対話・講話申込件数	件	25	30	15	25
	指標3						
	指標 1	表彰件数	件	44	50	59	50
成果指標	指標 2	市長対話・講話実施件数	件	25	30	15	25
	指標3						
	指標 1						
上位成果指標	指標 2						
	指標3						

⊐ -	- ド 303	11	事務事業	笔名称	秘書総務事業		所属名 秘書課					
				単位	2 0 年度	2 1 年度					2 2 年度	
甲世				平位	実績	計画	実績		計画			
			国	千円								
	財源内訳		県	千円								
			地方債	千円								
+			一般財源	千円	4, 272	5, 390			4, 209		5, 028	
事業			その他	千円								
費 (A)	主な事業費の内訳			秘書総務業務費 4,272 (うち交際費1,474)	秘書総務業務費 5,390 (うち交際費2,300)	秘書総務 うち交際 1,362)		4, 209(秘書総務業務費 (うち交際費 2,000)	5, 028		
人件費(B) 千円				千円	45, 459. 4	48, 463. 8			48, 493. 4		47, 711. 5	
ト — タ ル コ ス ト (A) + (B) 📑			(A) + (B)	千円	49, 731. 4	53, 853. 8			52, 702. 4		52, 739. 5	

3. 事務事業の評価(SEE)

3.	事務事業の評価(SEE)							
評価 類型	評価事項	評価区分		理	曲			
		☑ 結び付いている	上位の施策の「市民参加体制の充実」を 対話は重要な位置付けになっており、総		かに、秘書総務事業においては、特に市民 る。			
	①事業目的が上位の施策に結びつ	□ 結び付くが見直しの余地がある						
	いているか?	□ 結びつきが弱い・ない						
		│						
		□ 達成している	事業内容が所期目的を達成するというも	ものでなく、糸	継続性を持って行う事業である。			
	②すでに所期目的を達成しているか?	☑ 達成していない						
目的妥业	※「達成している」を選んだ場合、⑥ に進んでください。	□ 評価対象外事項						
性	③民営化で目的を達成できるか?	□ 可能性はある	市長の秘書及び渉外に関する事務である	るため、民営化	とに該当する内容でない。			
	※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。	☑ 可能性はない						
	(民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	□ 評価対象外事項						
		☑ 現状のままでよい	現状の「対象」・「意図」の設定で結果 	果に結びつく。				
	④「対象」・「意図」の設定は現 状のままで良いか?	□ 見直す必要がある						
		□ 有効性向上の可能性がある	的な経費であるため、削減する部分がな	ない。しかしな	なく、また、経費のうち交際費以外は義務ながら、秘書総務事業は業務そのものが間			
	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか? 可能性がある場合は、⑤-2,	□ 効率性向上の可能性がある	接的にまたは長期的に,円滑な行政運営 -	47円氏参加の	りよりつくりに反映される。			
	3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記	□ 両方可能性がある						
	入する。 	☑ 可能性がない						
有	⑤-2 有効性や効率性を向上さ	□ 民間委託等						
	せる手段は何か? 該当する手段を選択し、	□ 臨時的任用職員等の活用						
	具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」	□ IT化等の業務プロセスの見直し						
性	である場合は、該当する類似事業を記入する。	□ 受益者負担の見直し						
		□ 類似事業との統合・役割見直し	類似 1 事務		実施主体(所管部署)			
		□ 上記以外の方法	事業 名称 2		実施主体(所管部署)			
	⑤-3 推進にあたっての課題はあ	□ ある						
	るか?(一時的な経費増・市 民の理解等)	口ない						

⊐ -	-ド	3011	事務事業名称	秘書	総務事業						所属名	秘書課	
今後の方向	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。				牧革・改善 丁手法プロセ 丁事法規模の 丁・統の他 発止・休止 発生・ 東北・ 東北・ 東北・ 東北・ 東北・ 東北・ 東北・ 東北	Zスの改革・i D拡大・縮小 削見直し	改善	市長の秘書及び渉外に関する事務業務であるため、現状維持となる。					
性					経			費				費等の個々の内容を検討し削減に努めるが インスの4円は、ウムブレス	
						削減	不	変	増加	, 相対的な経質につい 	(は変化な	く,その成果も一定している。	
	の方向性	⑦この事務事業の今後の経費・成果 の方向性について選択し、右欄に理			向 上								
	由を記載する。		果	不 変		<u> </u>	2						
				低下									
				•				1					
こ <i>の</i> ※内)事務事業に	対する市民	見や議会の意見 は、住民では	 (担当i なく +	当が把握し ⁻ ナービス利に	ている意見) 部門の	音貝な	5宝能など				
' ' ' '	「市民対話」や「市長講話」は,市の実情や将来計画等が見えてきて有意義だったので,今後も続けてほしい。												
所属長コメント			際費の削減は一 積極的に推進す		直し効果が	が得られてお	おり今後	发も努 力	力していく	。表彰事務等の諸事務に	は現在の水準	生を維持しながら内容の充実を図る。市民対	
	I—	善して継続		担当課の)評価のとお	おり,現状の	のまま約	継続と	する。				
評価調整委	事	□ 手法プロセスの改革・改善□ 事業規模の拡大・縮小□ 統合・役割見直し□ その他											
員会	原止・												
評価	事業完												
	☑ 現状の	まま継続											